

2025年度

春学期入学

# 大学院入学試験要項

## 人文社会科学研究科

日本語日本文学専攻〈修士課程〉

言語文化専攻〈修士課程〉

歴史文化専攻〈修士課程〉

法・政治学専攻〈修士課程〉

経済・経営学専攻〈修士課程〉

2025

CHUKYO UNIVERSITY



目次			
・ 入学者受入れの方針	p. 1	Ⅲ 受験・合格発表・入学手続等	
・ 個人情報の取扱い	p. 3	1. 受験票の受取り	p. 19
I 入学定員・入試日程・出願資格・試験科目等		2. 試験当日の注意事項（持ち物含む）	p. 19
1. 入学定員と試験区分（選抜方式）	p. 4	3. 合格発表（可否通知発送）	p. 20
2. 入試日程	p. 4	4. 入学手続	p. 20
3. 出願資格	p. 5	5. 入学試験の成績開示	p. 20
4. 研究指導希望教員の確認	p. 7	Ⅳ 学費・経済支援等	
5. 選考方法	p. 7	1. 学費等	p. 21
6. 試験科目・時間等	p. 8	2. 経済支援等	p. 22
7. 試験当日集合場所・時間	p. 13	Ⅴ 教員組織	
II 出願書類・出願方法等		・ 教員組織	p. 24
1. 出願書類	p. 14	Ⅵ 巻末書類	
2. 出願方法・出願上の注意事項	p. 16	・ 各種出願書類	

## 入学者受入れの方針

研究科・専攻	入学者受入れの方針
人文社会科学研究科 共通	<p>人文社会科学研究科は、「中京大学の建学の精神」「中京大学の理念」「人文社会科学研究科の教育研究上の目的」に賛同し、以下に示す全専攻に共通する知識や能力等及び専攻別に示す知識や能力等を有する人を広く求め、受け入れる。</p> <p>【知識・技能】 論理的な文章を作成する能力を有している。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 一定の根拠に基づいて自らの判断で物事を考え、自らの意見を形成することができる。</li> <li>2. 自らの問題意識を研究計画書等に整理してわかりやすく他者に伝えることができる。</li> </ol> <p>【意欲・態度】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究に真摯に取り組み、社会に貢献する志を有している。</li> <li>2. 研究課題について、主体的に研究を遂行する意欲を有している。</li> <li>3. 研究に携わる者として必要不可欠な倫理観を有している。</li> <li>4. 専門領域に限定せず、現代社会に生起する諸現象、諸課題に深い関心を有している。</li> </ol>
日本語日本文学専攻	<p>日本語日本文学専攻修士課程は、「中京大学の建学の精神」「中京大学の理念」「人文社会科学研究科の教育研究上の目的」に賛同し、人文社会科学研究科全専攻に共通する知識や能力等及び以下に示す知識や能力等を有する人を広く求め、受け入れる。</p> <p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究する時代や分野を中心に、学士水準の日本文学や日本語に関する知識を有している。</li> <li>2. 日本文学や日本語の関係資料を読み解き、研究に活用するための知識や技能を身に付けている。</li> <li>3. 外国人留学生は、日本語能力試験N1レベル又はそれに準ずる日本語能力を有している。</li> <li>4. 社会人学生及び外国人留学生は、学士課程の低学年段階で修得すべき日本文学や日本語に関する基本的な知識を有している。</li> </ol> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本文学や日本語の検討を可能にする分析力及び思考力を有している。</li> <li>2. 一般学生は、日本文学や日本語について問題意識を持ち、それを他者に説明する能力を有している。</li> <li>3. 社会人学生及び外国人留学生は、これまでの学修歴や社会的経験を日本文学や日本語学に関連づけて思考し、日本文学や日本語学の分野における新たな問題を発見する能力を有している。</li> </ol>

研究科・専攻	入学者受入れの方針
言語文化専攻	<p>言語文化専攻修士課程は、「中京大学の建学の精神」「中京大学の理念」「人文社会科学研究科の教育研究上の目的」に賛同し、人文社会科学研究科全専攻に共通する知識や能力等及び以下に示す知識や能力等を有する人を広く求め、受け入れる。</p> <p><b>【知識・技能】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 言語文化研究の諸領域に亘る学士水準の基本的知識を有し、それについて論理的に論述する能力を有している。</li> <li>2. 専門分野に関する外国語文献資料の基礎的な読解力を有している。</li> <li>3. 外国人留学生は、日本語能力試験N2レベル又はそれに準ずる日本語能力を有している。</li> </ol> <p><b>【思考力・判断力・表現力】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 資料やデータを論理的に分析し、対象に対する意見や見解を形成し提示することができる。</li> <li>2. 資料やデータに基づいて、論理的かつ客観的な批評的評価を下すことができる。</li> <li>3. 社会人学生及び外国人留学生は、これまでの学修歴や社会経験を言語文化研究に関連づけて思考し、言語文化研究に関わる新たな問題を発見する能力を有している。</li> </ol> <p><b>【意欲・態度】</b></p> <p>言語文化研究に対する真摯な知的関心を以て研究に取り組む意志と態度を有している。</p>
歴史文化専攻	<p>歴史文化専攻修士課程は、「中京大学の建学の精神」「中京大学の理念」「人文社会科学研究科の教育研究上の目的」に賛同し、人文社会科学研究科全専攻に共通する知識や能力等及び以下に示す知識や能力等を有する人を広く求め、受け入れる。</p> <p><b>【知識・技能】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究しようとする時代や分野を中心に、日本の歴史文化全体に及ぶ基本的知識を有している。</li> <li>2. 歴史資料を読み解くことができ、それを歴史研究に活用するための基本的な技能と知識を有している。</li> <li>3. 外国人留学生は、日本語能力試験N1レベル又はそれに準ずる日本語能力を有している。</li> </ol> <p><b>【思考力・判断力・表現力】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究に関する明確なテーマと計画を有し、研究しようとする事象について、日本の歴史文化の中に位置づけながら研究意義を説明できる。</li> <li>2. 歴史文化に関わる関連な議論を経ることによって自らを成長させてゆく自覚と、そのためのコミュニケーション能力を有している。</li> <li>3. 社会人学生及び外国人留学生は、これまでの学修歴や社会経験を歴史文化研究に関連づけて思考し、歴史文化研究に関わる新たな問題を発見する能力を有している。</li> </ol> <p><b>【意欲・態度】</b></p> <p>日本の歴史文化に関する専門知識を活かして社会に貢献する意欲を有している。</p>
法・政治学専攻	<p>法・政治学専攻修士課程は、「中京大学の建学の精神」「中京大学の理念」「人文社会科学研究科の教育研究上の目的」に賛同し、人文社会科学研究科全専攻に共通する知識や能力等及び以下に示す知識や能力等を有する人を広く求め、受け入れる。</p> <p><b>〈修士（法学）の学位取得希望者に求める要件〉</b></p> <p><b>【知識・技能】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 条文の解釈や判例の読み方といった法技術的な知識を有している。</li> <li>2. 一般学生は、学士水準の法学の体系的・専門的な知識を身に付けている。</li> <li>3. 外国人留学生は、日本語能力試験N1レベル又はそれに準ずる日本語能力を有している。</li> <li>4. 社会人学生及び外国人留学生は、日本の法律制度に関する基本的な知識を有している。</li> <li>5. 税理士志望の学生は、学士水準の税法に関する知識を身に付けている。</li> </ol> <p><b>【思考力・判断力・表現力】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 法の内容それ自体に対する批判的な見方を可能にする分析力及び思考力を有している。</li> <li>2. 現代社会における法的な課題について問題意識を持ち、それを他者に説明する能力を有している。</li> <li>3. 社会人学生及び外国人留学生は、これまでの学修歴や社会的経験を法学と関連づけて思考し、法学分野における新たな問題を発見する能力を有している。</li> </ol> <p><b>〈修士（政治学）の学位取得希望者に求める要件〉</b></p> <p><b>【知識・技能】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 一般学生は、学士水準の政治学の体系的・専門的な知識を身に付けている。</li> <li>2. 外国人留学生は、日本語能力試験N1レベル又はそれに準ずる日本語能力を有している。</li> <li>3. 社会人学生及び外国人留学生は、現代の日本や世界が抱える政治的な課題について、政治史・政治理論、政治思想等の観点から説明できる基本的な知識を有している。</li> </ol> <p><b>【思考力・判断力・表現力】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 政治の内容それ自体に対する批判的な見方を可能にする分析力及び思考力を有している。</li> <li>2. 現代社会における政治的な課題について問題意識を持ち、それを他者に説明する能力を有している。</li> <li>3. 社会人学生及び外国人留学生は、これまでの学修歴や社会的経験と政治学を関連づけて思考し、政治学分野における新たな問題を発見する能力を有している。</li> </ol>

研究科・専攻	入学者受入れの方針
経済・経営学専攻	<p>経済・経営学専攻修士課程は、「中京大学の建学の精神」「中京大学の理念」「人文社会科学研究科の教育研究上の目的」に賛同し、人文社会科学研究科全専攻に共通する知識や能力等及び以下に示す知識や能力等を有する人を広く求め、受け入れる。</p> <p>〈修士（経済学）の学位取得希望者に求める要件〉</p> <p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 一般学生は、経済学及びその関連領域における学士水準の基礎知識を身に付けている。</li> <li>2. 外国人留学生は、日本語能力試験N1レベル又はそれに準ずる日本語能力を有している。</li> <li>3. 社会人学生及び外国人留学生は、グローバルな視点で経済について考察することのできる広い知見を有している。</li> </ol> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 専門教育を受けるに適した数学的思考力、経済に関する諸現象、諸問題に対して分析や洞察を行う能力を有している。</li> <li>2. 一般学生は、現代の経済社会が直面する諸課題について問題意識を持ち、それを他者に説明する能力を有している。</li> <li>3. 社会人学生及び外国人留学生は、これまでの学修歴や社会的経験を経済学と関連づけて思考し、経済学分野における新たな問題を発見する能力を有している。</li> </ol> <p>【意欲・態度】</p> <p>経済に関する諸問題を科学的な手法に基づいて分析することに関心を有している。</p> <p>〈修士（経営学）の学位取得希望者に求める要件〉</p> <p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 一般学生は、経営学及びその関連領域における学士水準の基礎知識を身に付けている。</li> <li>2. 外国人留学生は、日本語能力試験N1レベル又はそれに準ずる日本語能力を有している。</li> <li>3. 社会人学生及び外国人留学生は、グローバルな視点で経営について考察することのできる広い知見を有している。</li> <li>4. 税理士志望の学生は、学士水準の会計学に関する知識を身に付けている。</li> </ol> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 専門教育を受けるに適した問題処理能力、経営に関する諸現象、諸問題に対して分析や洞察を行う能力を有している。</li> <li>2. 一般学生は、会社組織を始めとする各種組織体の経営や、それを取り巻く外部環境に関する諸課題について問題意識を持ち、それを他者に説明する能力を有している。</li> <li>3. 社会人学生及び外国人留学生は、これまでの学修歴や社会的経験を経営学と関連づけて思考し、経営学分野における新たな問題を発見する能力を有している。</li> </ol> <p>【意欲・態度】</p> <p>経営に関する諸問題を科学的な手法に基づいて分析することに関心を有している。</p>

## 個人情報取扱い

- ①出願書類に記入された住所・氏名・その他個人情報については、合否結果通知及び合格者・入学手続者への各種案内の発送に利用します。
- ②大学が業務を委託した会社に、個人情報の全部又は一部を提供します。目的以外の用途に使用することはありませんので、予めご了承ください。

# I 入学定員・入試日程・出願資格・試験科目等

## 1. 入学定員と試験区分（選抜方式）

研究科	専攻	(領域) <sup>※1</sup>	課程	試験区分 <sup>※2</sup>						入学定員
				一般選抜	社会人選抜	留学生選抜	税理士選抜 <sup>※3</sup>	卒業生特別選抜	学内特別選抜	
人文社会科学	日本語日本文学	—	修士	○	○	○	—	○	○	5名
	言語文化	—		○	○	○	—	○	○	5名
	歴史文化	—		○	○	○	—	○	○	3名
	法・政治学	(法学)		○	○	○	○ <sup>※4</sup>	○	○	8名
		(政治学)		○	○	○	—	○	○	
	経済・経営学	(経済学)		○	○	○	—	○	○	5名
(経営学)		○	○	○	○	○	○			

※1 …法・政治学専攻及び経済・経営学専攻は、研究指導希望教員の所属領域が学生の所属領域となるため、P.25以降に記載する教員組織を参照の上、出願時に所属領域を選択すること。なお、入学後に所属領域を変更することはできない。

※2 …同一日程における複数の試験区分の併願はできない。

※3 …税理士を志望する者は税理士選抜を受験すること。

※4 …法・政治学専攻（法学領域）の税理士選抜での入学者数の上限は、4名を目安とする。

学内特別選抜については別冊子『2025年度中京大学大学院【学内特別選抜】入学試験要項』（教務センター（大学院係）窓口にて配付）を参照してください。

## 2. 入試日程

日本人・外国人（留学生以外）・日本国内在住の外国人留学生対象\*

\*日本国内在住であっても、2025年3月10日までに在留期限が切れる者、もしくは「留学」以外の在留資格から「留学」への資格変更を希望する者は含まない（該当者はP.5に記載する日本国外在住の外国人留学生対象の日程で受験すること）。

日程	専攻	課程	試験区分	出願期間 <sup>※1</sup> 最終日 消印有効	試験日	合否通知 発送日	入学手続締切日 <sup>※2</sup> 消印有効	入学辞退手続 締切日 必着
前期日程	日本語日本文学	修士	一般 社会人 留学生 卒業生特別	2024年 8月22日（木） ～ 8月30日（金）	2024年 9月21日（土）	2024年 10月2日（水）	【第一次入学手続】 2024年 10月11日（金） 【最終入学手続】 2025年 3月10日（月）	2025年 3月31日（月）
	言語文化							
	歴史文化							
	法・政治学		一般 社会人 留学生 卒業生特別 税理士					
	経済・経営学							
後期日程	日本語日本文学	修士	一般 社会人 留学生 卒業生特別	2025年 1月20日（月） ～ 1月30日（木）	2025年 2月15日（土）	2025年 2月26日（水）	【入学手続】 2025年 3月10日（月）	2025年 3月31日（月）
	言語文化							
	歴史文化							
	法・政治学		一般 社会人 留学生 卒業生特別 税理士 <sup>※3</sup>					
	経済・経営学							

日本国外在住の外国人留学生対象\*

\*…日本国外に在住する外国人かつ本学大学院入学時に在留資格「留学」を得る予定である者

日程	専攻	課程	試験区分	出願期間※1 最終日 消印有効	試験日	合否通知 発送日	入学手続締切日※2 消印有効	入学辞退手続 締切日 必着
前期日程のみ	日本語日本文学	修士	一般 社会人 留学生 卒業生特別	2024年 8月22日(木) ～ 8月30日(金)	2024年 9月21日(土)	2024年 10月2日(水)	【第一次入学手続】 2024年 10月11日(金) 【最終入学手続】 2024年 11月11日(月)	2025年 3月31日(月)
	言語文化							
	歴史文化							
	法・政治学		一般 社会人 留学生 卒業生特別 税理士					
	経済・経営学							

※1 …出願期間の平日(9:00~17:00)は、教務センター(大学院係)窓口での出願受付可。詳細は、本冊子「II 出願書類・出願方法等」の「2. 出願方法・出願上の注意事項」を参照すること。

外国在住の方で日本国外から出願する場合は、出願期間前日の受付可。事前に教務センター(大学院係)に相談すること。

※2 …入学手続の概要は以下のとおり。

- 【第一次入学手続】 入学金の納入のみ
- 【最終入学手続】 授業料等の納入及び入学手続書類の送付
- 【入学手続(後期日程)】 入学金・授業料等の納入及び入学手続書類の送付

※3 …法・政治学専攻(法学領域)の税理士選抜は、前期日程で入学者数の上限の目安(4名)を超える合格者がいる場合は、後期日程に当該選抜を実施しないことがある(実施しない場合は2024年10月下旬に本学公式ホームページで告知する)。

### 3. 出願資格

試験区分	出 願 資 格
一般選抜	<p>次の①～⑩のいずれかに該当する者又は2025年3月31日までに該当する見込みのある者。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者</li> <li>②大学改革・学位授与機構により学士の学位を授与された者</li> <li>③外国において学校教育における16年の課程を修了した者</li> <li>④外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者</li> <li>⑤我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者</li> <li>⑥外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る)において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者</li> <li>⑦専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者</li> <li>⑧文部科学大臣の指定した者</li> <li>⑨学校教育法第83条に規定する大学に3年以上在学した者(これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む)で、本研究科において、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者</li> <li>⑩本研究科において、個別の入学資格審査により、学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者</li> </ul>

次ページにつづく

試験区分	出 願 資 格												
一般選抜	<p>〈法・政治学専攻（政治学領域）のみ〉  前ページの出願資格を満たすほか、次の出願資格を満たす者。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CEFR B1相当以上の英語検定試験の資格スコアを保有していること（国際関係・国際開発分野を専攻する者については、B2相当以上の資格又はスコアを保有していることが望ましい）。ただし、英語を教授言語とする大学・大学院を卒業・修了した者（見込みを含む）及び母語が英語である者は不要とする。</li> <li>※CEFR B1・B2 相当の英語検定試験スコアについては、P. 7に記載する「検定試験とCEFRとの対照表（英語）」を参照すること。</li> <li>※国際関係・国際開発分野を専攻する者とは、国際関係・国際開発を専門分野とする教員を研究指導教員とする者を指す（教員の専門分野は P. 25に記載する教員組織を参照すること）。</li> </ul> <p>【出願資格審査について】  出願資格⑥⑨⑩による出願を希望する（本研究科において出願資格を審査する必要がある）場合は、出願開始日の2か月前までに教務センター（大学院係）まで問い合わせてください。  対象者（例）…飛び入学による出願希望者  短期大学・高等専門学校・各種学校の卒業生やその他の教育施設の修了者  外国の大学その他外国の学校で修業年限3年の課程修了者 等</p>												
社会人選抜	<p>一般選抜の出願資格を満たすほか、次の出願資格を満たす者又は2025年3月31日までに満たす見込みのある者。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学卒業後の職歴、ボランティア歴、社会活動歴のいずれかが5年以上ある者。</li> <li>※出願時の職業の有無、活動の有無は問わない。</li> <li>※職業は正規・非正規を問わない。</li> <li>※ボランティア、社会活動の内容は問わない。</li> </ul>												
留学生選抜	<p>一般選抜の出願資格を満たすほか、次の出願資格を満たす者。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出入国管理及び難民認定法において定める在留資格「留学」を有する者、又は入学時に得られる者。</li> </ul>												
卒業生特別選抜	<p>一般選抜の出願資格を満たすほか、次の出願資格を満たす者。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本学を2019年度から2023年度の間卒業した者。ただし、出願する専攻により、以下の要件を満たしていること。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="456 1111 1426 1995"> <thead> <tr> <th data-bbox="456 1111 655 1151">出願する専攻</th> <th data-bbox="655 1111 1426 1151">要件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="456 1151 655 1229">日本語日本文学</td> <td data-bbox="655 1151 1426 1229">本学文学部（日本文学科又は言語表現学科）の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者</td> </tr> <tr> <td data-bbox="456 1229 655 1435">言語文化</td> <td data-bbox="655 1229 1426 1435">以下いずれかの要件を満たす者。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・本学国際学部言語文化学科の卒業者のうち、卒業時の外国語科目のGPAが2.7以上の者</li> <li>・本学国際学部国際学科の卒業生（ただし、セカンドメジャーとして同学部言語文化学科の専修を選択し、Double Major を修了した者のみ）のうち、卒業時の外国語科目のGPAが2.7以上の者</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="456 1435 655 1480">歴史文化</td> <td data-bbox="655 1435 1426 1480">本学文学部歴史文化学科の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者</td> </tr> <tr> <td data-bbox="456 1480 655 1720">法・政治学</td> <td data-bbox="655 1480 1426 1720">以下いずれかの要件を満たす者。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・本学法学部の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者</li> <li>・本学総合政策学部の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者</li> <li>・本学国際学部国際学科の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者</li> <li>・本学国際学部言語文化学科の卒業生（ただし、セカンドメジャーとして同学部国際学科の専修を選択し、Double Major を修了した者のみ）のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="456 1720 655 1995">経済・経営学</td> <td data-bbox="655 1720 1426 1995">以下いずれかの要件を満たす者。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・本学経済学部の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者</li> <li>・本学経営学部の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者</li> <li>・本学総合政策学部の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者</li> <li>・本学国際学部国際学科の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者</li> <li>・本学国際学部言語文化学科（ただし、セカンドメジャーとして同学部国際学科の専修を選択し、Double Major を修了した者のみ）のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	出願する専攻	要件	日本語日本文学	本学文学部（日本文学科又は言語表現学科）の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者	言語文化	以下いずれかの要件を満たす者。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・本学国際学部言語文化学科の卒業者のうち、卒業時の外国語科目のGPAが2.7以上の者</li> <li>・本学国際学部国際学科の卒業生（ただし、セカンドメジャーとして同学部言語文化学科の専修を選択し、Double Major を修了した者のみ）のうち、卒業時の外国語科目のGPAが2.7以上の者</li> </ul>	歴史文化	本学文学部歴史文化学科の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者	法・政治学	以下いずれかの要件を満たす者。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・本学法学部の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者</li> <li>・本学総合政策学部の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者</li> <li>・本学国際学部国際学科の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者</li> <li>・本学国際学部言語文化学科の卒業生（ただし、セカンドメジャーとして同学部国際学科の専修を選択し、Double Major を修了した者のみ）のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者</li> </ul>	経済・経営学	以下いずれかの要件を満たす者。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・本学経済学部の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者</li> <li>・本学経営学部の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者</li> <li>・本学総合政策学部の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者</li> <li>・本学国際学部国際学科の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者</li> <li>・本学国際学部言語文化学科（ただし、セカンドメジャーとして同学部国際学科の専修を選択し、Double Major を修了した者のみ）のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者</li> </ul>
出願する専攻	要件												
日本語日本文学	本学文学部（日本文学科又は言語表現学科）の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者												
言語文化	以下いずれかの要件を満たす者。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・本学国際学部言語文化学科の卒業者のうち、卒業時の外国語科目のGPAが2.7以上の者</li> <li>・本学国際学部国際学科の卒業生（ただし、セカンドメジャーとして同学部言語文化学科の専修を選択し、Double Major を修了した者のみ）のうち、卒業時の外国語科目のGPAが2.7以上の者</li> </ul>												
歴史文化	本学文学部歴史文化学科の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者												
法・政治学	以下いずれかの要件を満たす者。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・本学法学部の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者</li> <li>・本学総合政策学部の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者</li> <li>・本学国際学部国際学科の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者</li> <li>・本学国際学部言語文化学科の卒業生（ただし、セカンドメジャーとして同学部国際学科の専修を選択し、Double Major を修了した者のみ）のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者</li> </ul>												
経済・経営学	以下いずれかの要件を満たす者。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・本学経済学部の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者</li> <li>・本学経営学部の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者</li> <li>・本学総合政策学部の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者</li> <li>・本学国際学部国際学科の卒業者のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者</li> <li>・本学国際学部言語文化学科（ただし、セカンドメジャーとして同学部国際学科の専修を選択し、Double Major を修了した者のみ）のうち、卒業時のGPAが2.7以上の者</li> </ul>												



試験区分	出願資格
<b>税理士選抜</b> 法・政治学専攻（法学領域）のみ 経済・経営学専攻（経営学領域）のみ	一般選抜の出願資格を満たすほか、次の出願資格を満たす者。 ・税理士を志望する者。
<b>全試験区分共通</b> 外国人留学生のみ	出願する試験区分の出願資格を満たすほか、次の①～④のいずれかを満たす者。 ①独立行政法人国際交流基金と公益財団法人日本国際教育支援協会が主催する日本語能力試験（JLPT）のN1（言語文化専攻はN2以上）に合格した者 ②独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験（EJU）の日本語科目450点満点のうち250点以上を得点し、かつ同科目の記述の領域において50点満点のうち30点以上を得点した者（言語文化専攻は日本語科目（読解、聴解・聴読解のみで記述を除く400点満点）で200点以上を得点した者） ③日本の大学の学部を卒業した者（卒業見込みを含む）又は日本の大学院を修了した者（修了見込みを含む） ※ただし、日本語以外の言語による授業のみで卒業（修了）可能なプログラム（コース）に所属する者及び卒業・修了した者（見込みを含む）は対象外とする。 ④本研究科において、上記①及び②と同等以上の日本語能力を有すると認めたとする <b>【出願資格審査について】</b> 出願資格④による出願を希望する（本研究科において出願資格を審査する必要がある）場合は、出願開始日の2か月前までに教務センター（大学院係）まで問い合わせてください。

## ●検定試験と CEFR との対照表（英語）

文部科学省作成「各資格・検定試験とCEFRとの対照表（平成30年3月）」より抜粋

CEFR	実用英語 技能検定	ケンブリッジ 英語検定	GTEC	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL® iBT	TOEIC® L&R TOEIC® S&W
B2	2599	179	1349	6.5	374	795	94	1840
	2300	160	1190	5.5	309	600	72	1560
B1	2299	159	1189	5.0	308	595	71	1555
	1950	140	960	4.0	225	420	42	1150

○資格・検定試験のスコア取得の時期は出願書類の提出期限までとする。

○実用英語技能検定は、「英検CBT」「英検1day S-CBT」のスコアも対象とする。

○GTEC は、オフィシャルスコア証明書が発行される「検定版」及び「CBTタイプ」を対象とする（「アセスメント版」は対象外）。

○TOEFL® iBT は、「My Best™ スコア」ではなく、Test Date スコアで判定する。

○TOEIC® L&R/TOEIC® S&W については、TOEIC® S&W のスコアを2.5倍に換算して合計したスコアで判定する。

○TOEIC® IP テストのスコアは対象外とする。

○IELTS Indicator は対象外とする。

## 4. 研究指導希望教員の確認

入学後に計画している研究テーマと研究指導希望教員の研究分野の一致を出願前に確認することを推奨します（本学の学部生で研究指導希望教員に直接確認をしている等、研究分野の一致が明らかである場合を除く）。出願前に確認する場合は、時間に余裕をもって教務センター（大学院係）へ連絡してください。

## 5. 選考方法

当日の試験と出願書類によって総合的に合否を判定します。

## 6. 試験科目・時間等

専攻	試験区分	試験時間	試験科目
日本語日本文学	一般	10:00 ～ 12:00	<b>専門科目</b> ・日本語学基礎（日本語学に関する基礎的な知識を問う） ・志望専門分野 ・志望専門分野以外 ※すべて必答。志望専門分野及び志望専門分野以外については、以下から各1分野を出願時に選択（志願書に記入）し、その分野を受験すること（出願後の変更は不可）。ただし、⑥比較文学（日中）、⑩広告論を志望専門分野に選択することはできない。 ①上代 ②中古 ③中世 ④近世 ⑤近代 ⑥比較文学（日中） ⑦書学 ⑧出版論 ⑨図書館学 ⑩広告論 ⑪日本語史（古代） ⑫日本語史（近代） ⑬現代日本語（文章・談話） ⑭現代日本語（方言） ⑮日本語教育
		13:30*～	<b>口頭試問</b> ・主として志望理由書及び研究計画書に基づき行う。
	社会人	10:00 ～ 12:00	<b>専門科目</b> ・論述（日本語及び日本文学に関する基礎的な知識を問う） ・志望専門分野 ※すべて必答。志望専門分野については、一般選抜の欄に記載する分野の中から1分野を出願時に選択（志願書に記入）し、その分野を受験すること（出願後の変更は不可）。ただし、⑥比較文学（日中）、⑩広告論を志望専門分野に選択することはできない。
		13:30*～	<b>口頭試問</b> ・主として志望理由書、職歴・活動歴報告書及び研究計画書に基づき行う。
	留学生	10:00 ～ 12:00	<b>専門科目</b> ・論述（日本語及び日本文学に関する基礎的な知識を問う） ・志望専門分野 ※すべて必答。志望専門分野については、一般選抜の欄に記載する分野の中から1分野を出願時に選択（志願書に記入）し、その分野を受験すること（出願後の変更は不可）。ただし、⑥比較文学（日中）、⑩広告論を志望専門分野に選択することはできない。
		13:30*～	<b>口頭試問</b> ・主として志望理由書及び研究計画書に基づき行い、日本語会話能力も測る。
卒業生特別	13:30*～	<b>口頭試問</b> ・主として志望理由書及び研究計画書に基づき行う。	

\*口頭試問の試験時間は全体の開始時刻であり、受験生により開始時刻及び終了時刻が異なる。

専攻	試験区分	試験時間	試験科目										
言語文化	一般	10:00 ～ 11:30	<b>外国語</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語の中から母語を除く1言語を出願時に選択（志願書に記入）し、その言語を受験すること（出願後の変更は不可）。</li> <li>受験言語を日本語に訳す辞典（例：英和辞典、独和辞典等）1冊の持込み可（電子辞書及びこれに類する機器の持込みは不可）。</li> <li>下表に示す外部試験のスコアの内いずれかを有している者は、外国語の試験を免除する。</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>英語</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>● TOEFL iBT70点以上（PBT又はITP Level1の場合は523点以上）</li> <li>● IELTS（アカデミック・モジュール）6.0以上</li> <li>● TOEIC L&amp;R 700点以上</li> <li>● 実用英語技能検定準1級以上</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>ドイツ語</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ドイツ語技能検定試験（独検）2級以上</li> <li>● ゲーテ・ドイツ語検定試験（Goethe-Zertifikat）B2以上</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>フランス語</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 実用フランス語技能検定試験（仏検）2級以上</li> <li>● DELF B2以上</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>中国語</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>● HSK 4級以上</li> <li>● 中国語検定試験（中検）2級以上</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>ロシア語</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ロシア語能力検定試験 2級以上</li> <li>● ロシア語検定試験（ТРКИ）第1レベル以上</li> </ul> </td> </tr> </table>	英語	<ul style="list-style-type: none"> <li>● TOEFL iBT70点以上（PBT又はITP Level1の場合は523点以上）</li> <li>● IELTS（アカデミック・モジュール）6.0以上</li> <li>● TOEIC L&amp;R 700点以上</li> <li>● 実用英語技能検定準1級以上</li> </ul>	ドイツ語	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ドイツ語技能検定試験（独検）2級以上</li> <li>● ゲーテ・ドイツ語検定試験（Goethe-Zertifikat）B2以上</li> </ul>	フランス語	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 実用フランス語技能検定試験（仏検）2級以上</li> <li>● DELF B2以上</li> </ul>	中国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>● HSK 4級以上</li> <li>● 中国語検定試験（中検）2級以上</li> </ul>	ロシア語	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ロシア語能力検定試験 2級以上</li> <li>● ロシア語検定試験（ТРКИ）第1レベル以上</li> </ul>
		英語	<ul style="list-style-type: none"> <li>● TOEFL iBT70点以上（PBT又はITP Level1の場合は523点以上）</li> <li>● IELTS（アカデミック・モジュール）6.0以上</li> <li>● TOEIC L&amp;R 700点以上</li> <li>● 実用英語技能検定準1級以上</li> </ul>										
	ドイツ語	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ドイツ語技能検定試験（独検）2級以上</li> <li>● ゲーテ・ドイツ語検定試験（Goethe-Zertifikat）B2以上</li> </ul>											
	フランス語	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 実用フランス語技能検定試験（仏検）2級以上</li> <li>● DELF B2以上</li> </ul>											
	中国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>● HSK 4級以上</li> <li>● 中国語検定試験（中検）2級以上</li> </ul>											
	ロシア語	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ロシア語能力検定試験 2級以上</li> <li>● ロシア語検定試験（ТРКИ）第1レベル以上</li> </ul>											
	13:30*～	<b>口頭試問</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主として志望理由書及び研究計画書に基づき行う。</li> </ul>											
	社会人	10:00 ～ 11:30	<b>外国語</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語の中から母語を除く1言語を出願時に選択（志願書に記入）し、その言語を受験すること（出願後の変更は不可）。</li> <li>受験言語を日本語に訳す辞典（例：英和辞典、独和辞典等）1冊の持込み可（電子辞書及びこれに類する機器の持込みは不可）。</li> <li>一般選抜の欄に記載する外部試験のスコアの内いずれかを有している者は、外国語の試験を免除する。</li> </ul>										
		13:30*～	<b>口頭試問</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主として志望理由書、職歴・活動歴報告書及び研究計画書に基づき、これまでの経歴及び学修歴を加味して行う。</li> </ul>										
	留学生	10:00 ～ 11:30	<b>外国語</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語の中から母語を除く1言語を出願時に選択（志願書に記入）し、その言語を受験すること（出願後の変更は不可）。</li> <li>受験言語を日本語に訳す辞典（例：英和辞典、独和辞典等）1冊の持込み可（電子辞書及びこれに類する機器の持込みは不可）。</li> <li>一般選抜の欄に記載する外部試験のスコアの内いずれかを有している者は、外国語の試験を免除する。</li> </ul>										
13:30*～		<b>口頭試問</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主として志望理由書及び研究計画書に基づき、これまでの学修歴を加味して行う。</li> </ul>											
卒業生特別	13:30*～	<b>口頭試問</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主として志望理由書及び研究計画書に基づき行う。</li> </ul>											

\*口頭試問の試験時間は全体の開始時刻であり、受験生により開始時刻及び終了時刻が異なる。

専 攻	試験区分	試験時間	試 験 科 目
歴史文化	一般	10:00 ～ 11:30	<b>専門科目</b> ・志望専門分野 ・志望専門分野以外 ※すべて必答。志望専門分野及び志望専門分野以外については、以下から各1分野を出願時に選択（志願書に記入）し、受験すること（出願後の変更は不可）。 ①古代史 ②中世史 ③戦国・織豊期 ④近世史 ⑤近現代史 ⑥思想史 ⑦民俗学
		13:00 ～ 14:00	<b>古文書（くずし字）読解</b> ・くずし字辞典持込可（電子辞書及びこれに類する機器の持込は不可）。
		14:30*～	<b>口頭試問</b> ・主として志望理由書及び研究計画書に基づき行う。
	社会人	10:00 ～ 11:00	<b>専門科目</b> ・志望専門分野 ※必答。志望専門分野については、一般選抜の欄に記載する分野の中から1分野を出願時に選択（志願書に記入）し、受験すること（出願後の変更は不可）。
		13:00 ～ 14:00	<b>古文書（くずし字）読解</b> ・くずし字辞典持込可（電子辞書及びこれに類する機器の持込は不可）。
		14:30*～	<b>口頭試問</b> ・主として志望理由書、職歴・活動歴報告書及び研究計画書に基づき行う。
	留学生	10:00 ～ 11:00	<b>専門科目</b> ・志望専門分野 ※必答。志望専門分野については、一般選抜の欄に記載する分野の中から1分野を出願時に選択（志願書に記入）し、受験すること（出願後の変更は不可）。
		13:00 ～ 14:00	<b>古文書（くずし字）読解</b> ・くずし字辞典持込可（電子辞書及びこれに類する機器の持込は不可）。
		14:30*～	<b>口頭試問</b> ・主として志望理由書及び研究計画書に基づき行い、日本語会話能力も測る。
	卒業生特別	14:30*～	<b>口頭試問</b> ・主として志望理由書及び研究計画書に基づき行う。

\*口頭試問の試験時間は全体の開始時刻であり、受験生により開始時刻及び終了時刻が異なる。

専攻	試験区分	試験時間	試験科目
法・政治学	一般	10:00 ～ 11:30	<b>専門科目</b> <b>【法学領域志願者】</b> ・志望専門分野 ・志望専門分野以外 ※すべて必答。志望専門分野及び志望専門分野以外については、以下から各1分野を出願時に選択（志願書に記入）し、受験すること（出願後の変更は不可）。 ①憲法 ②行政法 ③民法 ④刑法 ⑤刑事政策 ⑥企業法 ⑦労働法 ⑧国際法 ⑨法哲学 ⑩法史学 ⑪知的財産法 ⑫ジェンダーと法 ※判例の記載のない「六法」（六法全書）のみ持込み可。  <b>【政治学領域志願者】</b> ・以下に示す事前課題を得点化する。 ※試験当日の筆記試験は行わない。このため、法学領域と集合時間が異なる（本冊子「7. 試験当日集合場所・時間」参照）。 <b>〈事前課題〉</b> あなたが提案する研究計画に関連して、以下の問1と問2に答える小論文を4,000字程度で作成すること。 問1 その研究が属する研究分野（国際関係論、行政学、政治学、公共政策、国際開発学等）ではどのような議論が最近おこなわれているか、資料を引用しながら論ぜよ。 問2 問1の議論においてあなたが提案する研究はどのように位置づけられるか、また、学問的あるいは社会的にどのような貢献が期待できるか示せ。 内容に見合う適切なタイトルを付けること。引用したすべての資料の書誌情報をリストにして示すこと。ただし、書誌情報は文字数制限に含まない。
		13:30*～	<b>口頭試問</b> ・主として志望理由書及び研究計画書に基づき行う。
	社会人	10:00 ～ 11:30	<b>専門科目</b> <b>【法学領域志願者】</b> ・志望専門分野 ※必答。志望専門分野については、一般選抜の欄に記載する分野の中から1分野を出願時に選択（志願書に記入）し、受験すること（出願後の変更は不可）。 ※リーガルマインド及び論理的思考力を問う。 ※判例の記載のない「六法」（六法全書）のみ持込み可。  <b>【政治学領域志願者】</b> ・以下に示す事前課題を得点化する。 ※試験当日の筆記試験は行わない。このため、法学領域と集合時間が異なる（本冊子「7. 試験当日集合場所・時間」参照）。 <b>〈事前課題〉</b> あなたが提案する研究計画に関連して、小論文を2,000字程度で作成すること。 小論文では、あなたが計画する研究の重要性を説明し、それが学問的あるいは社会的にどのような貢献ができるか示すこと。 内容に見合う適切なタイトルを付けること。必要に応じて資料を引用し、引用したすべての資料の書誌情報をリストにして示すこと。ただし、書誌情報は文字数制限に含まない。
		13:30*～	<b>口頭試問</b> ・主として志望理由書、職歴・活動歴報告書及び研究計画書に基づき行う。

\*口頭試問の試験時間は全体の開始時刻であり、受験生により開始時刻及び終了時刻が異なる。

専攻	試験区分	試験時間	試験科目
法・政治学	留学生	10:00 ～ 11:30	<b>専門科目</b> <b>【法学領域志願者】</b> ・志望専門分野 ※必答。志望専門分野については、一般選抜の欄に記載する分野の中から1分野を出願時に選択（志願書に記入）し、受験すること（出願後の変更は不可）。 ※リーガルマインド、論理的思考力及び日本語能力を問う。 ※判例の記載のない「六法」（六法全書）のみ持込み可。  <b>【政治学領域志願者】</b> ・以下に示す事前課題を得点化する。 ※試験当日の筆記試験は行わない。このため、法学領域と集合時間が異なる（本冊子「7. 試験当日集合場所・時間」参照）。 <b>〈事前課題〉</b> あなたが提案する研究計画に関連して、小論文を2,000字程度で作成すること。 小論文では、あなたが計画する研究の重要性を説明し、それが学問的あるいは社会的にどのような貢献ができるか示すこと。 内容に見合う適切なタイトルを付けること。必要に応じて資料を引用し、引用したすべての資料の書誌情報をリストにして示すこと。ただし、書誌情報は文字数制限に含まない。
		13:30*～	<b>口頭試問</b> ・主として志望理由書及び研究計画書に基づき行い、日本語会話能力も測る。
	卒業生特別	13:30*～	<b>口頭試問</b> ・主として志望理由書及び研究計画書に基づき行う。
	税理士	10:00 ～ 11:30	<b>専門科目（租税法に関する小論文）</b> ・租税法基礎（1問）を必須とし、法人税法（2問）及び所得税法（2問）の計4問から2問を試験当日に選択する。 ・解答はすべて論述形式（小論文）とする。 ※税理士試験科目（税法に属する科目又は会計学に属する科目）のうち、1科目以上合格している者は「専門科目（租税法に関する小論文）」の試験を免除する。
		13:30*～	<b>口頭試問</b> ・主として志望理由書及び研究計画書に基づき行う。
経済・経営学	一般	10:00 ～ 12:00	<b>専門科目</b> ・専門外書読解 ・専門基礎 ・志望専門分野 ※すべて必答。志望専門分野については、研究指導希望教員の専門分野（P.26～27に記載する教員組織参照）を出願時に選択（志願書に記入）し、受験すること（出願後の変更は不可）。 ※英和辞典1冊持込可（電子辞書及びこれに類する機器の持込は不可）
		13:30*～	<b>口頭試問</b> ・主として志望理由書及び研究計画書に基づき行う。

\*口頭試問の試験時間は全体の開始時刻であり、受験生により開始時刻及び終了時刻が異なる。

専攻	試験区分	試験時間	試験科目
経済・経営学	社会人	10:00 ～ 11:30	<b>専門科目</b> ・専門基礎 ・志望専門分野 ※すべて必答。志望専門分野については、研究指導希望教員の専門分野（P.26～27に記載する教員組織参照）を出願時に選択（志願書に記入）し、受験すること（出願後の変更は不可）。
		13:30*～	<b>口頭試問</b> ・主として志望理由書、職歴・活動歴報告書及び研究計画書に基づき行う。
	留学生	10:00 ～ 11:30	<b>専門科目</b> ・専門基礎 ・志望専門分野 ※すべて必答。志望専門分野については、研究指導希望教員の専門分野（P.26～27に記載する教員組織参照）を出願時に選択（志願書に記入）し、受験すること（出願後の変更は不可）。
		13:30*～	<b>口頭試問</b> ・主として志望理由書及び研究計画書に基づき行い、日本語会話能力も測る。
	卒業生特別	13:30*～	<b>口頭試問</b> ・主として志望理由書及び研究計画書に基づき行う。
	税理士	10:00 ～ 11:30	<b>専門科目</b> ・会計学から2問出題する。 ※税理士試験科目（税法に属する科目又は会計学に属する科目）のうち、1科目以上合格している者は専門科目の試験を免除する。
		13:30*～	<b>口頭試問</b> ・主として志望理由書及び研究計画書に基づき行う。

\*口頭試問の試験時間は全体の開始時刻であり、受験生により開始時刻及び終了時刻が異なる。

## 7. 試験当日集合場所・時間

集合場所：名古屋キャンパス0号館（センタービル）正面入口〈建物内〉

※名古屋キャンパス0号館の位置は、本学公式ホームページに掲載している「名古屋キャンパスマップ」を参照すること。

集合時間：下表の通り（専攻及び試験区分により異なる）

専攻	試験区分					
	一般選抜	社会人選抜	留学生選抜	卒業生特別選抜	税理士選抜	
日本語日本文学		9:30		13:00	/	
言語文化		9:30 <sup>※1</sup>		13:00		
歴史文化		9:30		14:00		
法・政治学	【法学領域志願者】	9:30	【政治学領域志願者】	13:00	13:00	9:30 <sup>※2</sup>
経済・経営学		9:30		13:00		9:30 <sup>※2</sup>

※1 …外国語試験免除者は13:00集合

※2 …専門科目試験免除者は13:00集合

## II 出願書類・出願方法等

### 1. 出願書類

#### 【注意事項】

- ①書類は黒色のペン又はボールペンを使用して、明確に記入してください。
- ②英語以外の外国語で記載された書類（卒業証明書・成績証明書等）には日本語訳又は英語訳を添付してください。
- ③所定用紙以外の書式自由の書類はA4判サイズ用紙で作成してください。
- ④出願後の出願書類の変更はできません。

書類名称	詳細
受験票 写真票 検定料払込票 【同封書類】	<ul style="list-style-type: none"><li>・受験票に切手（通常はがき+速達料金分、2024年5月現在は323円分）を貼付し、必要事項を記入すること。</li><li>・写真（正面上半身、脱帽、縦4cm×横3cm、3か月以内に撮影）の裏面に氏名を記入し、写真票に貼付すること。</li><li>・検定料については、P.17を参照の上、払込手続きを行い、振替払込受付証明書（願書貼付用）を検定料払込票の所定欄に貼付すること。</li></ul>
宛名シール 【同封書類】	<ul style="list-style-type: none"><li>・通知書発送に使用するため、郵便番号・住所・氏名を明確に記入すること。</li></ul>
志願書 【巻末書類】	<ul style="list-style-type: none"><li>・巻末一人社・志願書を使用すること。</li><li>・表面の「選択言語・分野等」欄は、出願する専攻・試験区分についてP.8～13に記載する事項を参照して記入すること。自身の該当しない欄については記入不要。 例) 法・政治学専攻（政治学領域）に出願する者は、試験当日の筆記試験を課さないため記入不要。</li><li>・裏面の履歴欄は、該当する履歴についてもれなく記入すること（該当する履歴がない場合は記入不要）。</li><li>・裏面の「学位」欄は、取得学位（見込みを含む）を正確に記入すること。 例) 学士（文学）、修士（経済学）等</li><li>・外国人留学生は、裏面の「日本語の学力」欄に出願資格の根拠となる日本語の学力を記入すること。</li><li>・法・政治学専攻（政治学領域）一般選抜出願者は、裏面の「英語の学力」欄に出願資格の根拠となる英語の学力を記入すること。</li></ul>
卒業証明書 （含見込）	<ul style="list-style-type: none"><li>・最終出身大学作成のものを提出すること。 ※中国の教育機関を卒業／修了した者（見込みを含む）は、上記に代わりP.17～18に記載された書類を提出すること。</li><li>※大学院を修了した者（見込みを含む）は、その修了（見込）証明書又は学位授与証明書を併せて提出すること。</li></ul>
成績証明書	<ul style="list-style-type: none"><li>・最終出身大学作成のものを提出すること。 ※中国の教育機関を卒業／修了した者（見込みを含む）は、上記に代わりP.17～18に記載された書類を提出すること。</li><li>※大学院を修了した者（見込みを含む）は、その成績証明書も併せて提出すること。</li></ul>
志望理由書	<ul style="list-style-type: none"><li>・書式自由（文字サイズ10.5pt以上で作成すること）。</li><li>・先頭に「志望理由書」「氏名」を記入すること。</li><li>・当大学院を志望する理由について、1,000字程度で記入すること。具体的には次の内容を含むこと。<ol style="list-style-type: none"><li>① どういうテーマで勉学・研究したいのか</li><li>② そう考えた背景や理由は何か</li><li>③ 志願書に記述した研究指導希望教員を選択した理由は何か</li></ol></li></ul>



書類名称	詳細
研究計画書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書式自由（文字サイズ10.5pt以上で作成すること）。</li> <li>・先頭に「研究計画書」「氏名」を記入すること。</li> <li>・「志望理由書」で述べた研究テーマについて、どう取り組んでいきたいかを1,500字程度（引用文献リストは除く）で記入すること。</li> <li>・具体的には次の内容を含むこと。ただし、★マークの項目は歴史文化専攻のみ必須とし、その他の専攻は必須としない。また、言語文化専攻と法・政治学専攻（政治学領域）の志願者は④⑤を不要とする。</li> <li>①研究テーマ</li> <li>②研究の目的、背景</li> <li>③研究の対象と方法★</li> <li>④研究により期待される効果・成果 <ul style="list-style-type: none"> <li>・可能な限り、学術的にどのような新しい知見をもたらすのか、社会にどのように役立つと考えられるか等の視点から記述すること。</li> </ul> </li> <li>⑤研究の計画（スケジュール） <ul style="list-style-type: none"> <li>※図や表を含めて記述してもよい。</li> <li>※社会人対象の短期修了プログラム（法・政治学専攻法学領域）を希望する者は、1年で修了する計画を記述すること。</li> <li>※長期履修制度を希望する者は、3年で修了する計画を記述すること。</li> </ul> </li> </ul>
職歴・活動状況報告書	<p>〈社会人選拔出願者のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書式自由（文字サイズ10.5pt以上で作成すること）。</li> <li>・先頭に「職歴・活動状況報告書」「氏名」を記入すること。</li> <li>・1,000字程度で記入すること。</li> <li>・具体的には次の内容を含むこと。ただし、業績や経験は職業ではなくボランティアやその他の社会活動でもよい。</li> <li>①これまでに社会人として残してきた業績、経験</li> <li>②上記を大学院での勉学や研究にどう活かすか（活かしたいか）</li> <li>※志望理由書や研究計画書で述べた内容と関連させて記入することが望ましい。</li> </ul>
外国語外部試験スコア	<p>〈言語文化専攻で外国語試験免除を希望する者のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語外部試験の成績証明書、スコアレポート等のコピーを提出すること。</li> <li>※TOEIC®スコアに関して、公式認定証がない場合はデジタル公式認定証を印刷して提出すること。</li> </ul> <p>〈法・政治学専攻（政治学領域）出願者のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語外部試験の成績証明書、スコアレポート等のコピーを提出すること。</li> <li>※英語を教授言語とする大学・大学院を卒業・修了した者（見込みを含む）及び母語が英語である者は不要。</li> <li>※TOEIC®スコアに関して、公式認定証がない場合はデジタル公式認定証を印刷して提出すること。</li> </ul>
税理士試験科目の合格を証明する書類	<p>〈法・政治学専攻（法学領域）又は経済・経営学専攻（経営学領域）の税理士選拔出願者のうち、税理士試験で1科目以上合格しており専門科目試験の免除を希望する者のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・税理士試験科目の合格を証明することができる書類のコピーを提出すること。</li> </ul>
事前課題	<p>〈法・政治学専攻（政治学領域）一般選抜・社会人選抜・留学生選拔出願者のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前課題</li> <li>※事前課題に関する詳細は、P.11～12を参照すること。</li> </ul>
戸籍抄本等	<p>〈証明書等の氏名と現在の氏名が異なる場合のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・氏名の変更を証明できる書類（戸籍抄本等）を提出すること。</li> </ul>
長期履修許可願【所定様式】	<p>〈長期履修制度の適用を希望する者のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・所定様式を中京大学教務センター（大学院係）から取り寄せること。</li> <li>※長期履修制度に関する詳細は P.21を参照すること。</li> </ul>
短期履修許可願【所定様式】	<p>〈法・政治学専攻で社会人短期履修制度の適用を希望する者のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・所定様式を中京大学教務センター（大学院係）から取り寄せること。</li> <li>※社会人短期履修制度に関する詳細は P.21を参照すること。</li> </ul>

## 以下は外国人留学生のみ提出してください。

ここでいう外国人留学生とは、出入国管理及び難民認定法において定める在留資格「留学」を有する者、又は入学時に得る予定である者を指します。

書類名称	詳細
日本語の学力に関する書類	<ul style="list-style-type: none"> <li>出願資格の根拠となる書類を提出すること。</li> <li>例) 日本語能力試験の「合否結果通知」又は「認定結果及び成績に関する証明書」(コピー)、日本留学試験の「成績通知書」(コピー)、大学や大学院の学位授与証明書、成績証明書 等</li> <li>※コピーを提出する場合、証明する書類の原本をA4判サイズ用紙にコピーして、氏名(カタカナ表記)と出願する研究科・専攻名を右上に記入すること。</li> <li>※日本留学試験の成績は、中京大学が日本学生支援機構から直接入手する。</li> </ul>
住民票又は在留カード	<p>〈日本国内に在住する者のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>住民票の場合は、国籍・在留資格・在留期間・在留期間の満了日が記載されていることを確認し、出願前3か月以内に発行されたもの(原本)を提出すること。</li> <li>在留カードの場合は、表面と裏面をA4判サイズ用紙にコピーして提出すること。</li> <li>※入学までに在留期間の更新や「留学」への在留資格変更が必要な者は、出願期間開始前に出入国在留管理局に更新や変更条件、必要な申請書類、帰国の要否等を問い合わせ、入学までに行うべきことを自ら確認すること。</li> </ul>
身元保証書【巻末書類】	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻末-身元保証書を使用すること。</li> <li>※保証人が自筆で署名し、捺印したものを提出すること。</li> <li>※保証人は日本に居住し独立して生計を営んでいる者で、中京大学外国人留学生として日本に在留中の本人に関するすべての事項について保証できる者とする。</li> </ul>
パスポートのコピー	<ul style="list-style-type: none"> <li>顔写真のページのコピーを提出すること。</li> </ul>
学歴認証に関する証明書【巻末書類】	<p>〈中国の教育機関(大学や大学院)を卒業/修了した者(含見込)のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>P.17~18に記載された証明書を各発行機関から取り寄せること。</li> <li>巻末-学歴認証表紙をつけること。また、巻末-学歴認証表紙には、提出する書類にチェックし、中国高等教育学生信息网(CHSI)が発行する第三者閲覧用コード(Online Verification Code)をもれなく記入すること。</li> </ul>

## 2. 出願方法・出願上の注意事項

### (1) 出願方法

#### 【郵送・窓口持参共通事項】

- ① 所定の封筒に必要事項を記入し、出願書類を入れてください。
- ② 論文等が大きく、所定の封筒に入らない場合は、所定の封筒の表面を切り取り、出願書類が入る大きさの任意の封筒に貼付してください。
- ③ 出願書類に不備がある場合は出願を受け付けません。

#### 【出願書類を郵送する場合】

- ・ 出願期間最終日の消印有効とします。
- ・ 「速達の簡易書留郵便」で送付してください。

#### 【出願書類を大学窓口に持参する場合】

- ・ 名古屋キャンパスの教務センター(大学院係)窓口(以下)で出願を受け付けます。

名古屋キャンパス：名古屋市昭和区八事本町101-2 5号館1階

※受付時間は平日の9:00~17:00です。時間外の受付はできませんので注意してください。

※学部の入学試験日(2月上旬)は、構内立入禁止のため、総務課窓口で出願を受け付けることがあります。

## (2) 検定料

①入学検定料は同封の検定料払込用紙を用いて、ゆうちょ銀行又は郵便局の窓口にて払い込んでください。なお、金額を記入する欄は下表を参照の上、正しく記入してください。

出願する課程	対象者	検定料
修士課程	中京大学の学部 <sup>に</sup> 在籍する者及び卒業した者	10,000円
	中京大学 <sup>以外</sup> の大学の学部 <sup>に</sup> 在籍する者及び卒業した者	35,000円

②「振替払込受付証明書（願書貼付用）」は、ゆうちょ銀行又は郵便局の日附印を確認の上、**検定料払込票の所定欄に貼付**してください。

③現金や為替を封入したり、他の金融機関での振込、及びATMによる振込は受け付けることができません。

④振込手数料は本人負担となります。払い込まれた入学検定料は返還できませんのでご了承ください。

⑤「振替払込請求書兼受領証」は大学発行の領収書とみなしますので、大切に保管してください。

⑥払込用紙裏面の収入印紙については貼付する必要はありません。

⑦入学検定料納入期間は、出願開始日の一週間前から、出願締切日までです。

## (3) 研究指導教員の決定

志願書の「研究指導希望教員名」欄に、希望する研究指導教員名を記入してください。希望する研究指導教員を決定するにあたっては、大学院入学試験要項（本冊子）P.24以降の「教員組織」を必ず確認してください（教員の専門分野の詳細は、中京大学大学院人文社会科学研究所案内パンフレット（別冊子）各専攻ページ、中京大学公式ホームページ掲載情報を参考にしてください）。

また、出願前に研究分野の一致確認をすることを推奨します（本冊子「I 入学定員・入試日程・出願資格・試験科目等」の「4. 研究指導希望教員の確認」参照）。

ただし、研究指導教員は、入学後の研究希望内容に基づき研究科が決定しますので、必ずしも志願書に記入された希望教員に決定するとは限りません。また、入学後に、研究指導教員の休職や退職、研究内容の変更等のやむを得ない事由が生じた場合は、研究指導教員を変更する場合がありますので、予めご了承ください。

## (4) 修学及び受験に際して特別な配慮を要する方へ

中京大学では、障がい等により、受験及び修学に際して配慮を希望する方からの相談を随時受け付けています。なお、相談の内容によっては、出願前に志願者本人（及び保護者）に面談を依頼することがありますので予めご了承ください。

※この面談は、受験上及び修学上の配慮について確認するものであり、合否判定等とは一切関係ありません。

出願の検討段階での相談でも構いませんので、出願前に時間に余裕をもって教務センター（大学院係）まで申し出てください。特に、受験に際しての配慮を希望される方は、出願開始の4週間前までに必ず連絡してください。

## (5) 中国の教育機関を卒業／修了した方へ（含見込）

中国の教育機関（大学・大学院）を卒業／修了した方（含見込）は、以下の（Ⅰ）、（Ⅱ）に関する証明書を提出してください。

### (Ⅰ) 卒業（見込）証明書又は修了（見込）証明書

出身大学／大学院が発行する証明書の代わりに、中国高等教育学生信息网（CHSI）が発行する以下の書類①、②の両方を提出してください。

〈大学又は大学院を卒業／修了した者〉

①「中国高等教育学位在线验证报告」の写し

②「Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate」の写し（上記①の英語版）

〈大学又は大学院に在学中の者〉

①「教育部学籍在线验证报告」の写し

②「Online Verification Report of Student Record」の写し（上記①の英語版）

※大学又は大学院に在学中の者は、大学を卒業後（又は大学院を修了後）すみやかにCHSIに申請をし、取得した書類を教務センター（大学院係）に送付してください。

(II) 成績（見込）証明書

以下①～③のいずれかの証明書を提出してください。

- ①最終出身大学が発行した成績証明書の原本（日本語又は英語で作成されたもの）
- ②中国高等教育学生信息网（CHSI）が発行した「Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcript」の写し
- ③ CHSI 日本代理機構が発行した「成績認証報告書」の原本（英語で作成されたもので、日本代理機構から郵送あるいはデータ送付されたもの）

【中国高等教育学生信息网（CHSI）の利用方法について】

CHSIのWebサイトに登録し、該当書類をPDFファイルで入手後、A4判サイズの内紙に印刷してください。

中国高等教育学生信息网（CHSI） <https://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp>

なお、第三者（大学）が CHSI の Web 認証を閲覧できるように、閲覧用のコード（Online Verification Code）を提出書類の「学歴認証表紙」の指定欄に記入してください。また、提出時点で Web 認証の有効期限が20日以上残っていることを確認してください。

【CHSI日本代理機構の利用方法について】

CHSI日本代理機構の Web サイトより、該当書類の申請方法を確認し、機構から受け取った証明書を提出してください。

CHSI日本代理機構 <http://www.chsi.jp/shinseikojin.html>

【証明書の翻訳について】

中国語で作成された証明書には、その証明書の原本に加えて、日本語又は英語による翻訳の提出が必要です。

(6) 外国人留学生の受入に係る安全保障輸出管理

中京大学では、「外国為替及び外国貿易法（外為法）」に基づき、安全保障輸出管理の観点から規程を定めており、これに沿って外国人留学生の受入の審査を行っています。

その審査結果によっては希望する教育が受けられない・研究ができない場合がありますので、予めご了解ください。

# Ⅲ 受験・合格発表・入学手続等

## 1. 受験票の受取り

- ① 受験票は出願期間締切後、随時郵送します。
- ② 受験票が試験日の3日前になっても届かない場合は、教務センター（大学院係）TEL（052）835-9863へ連絡してください。
- ③ 受験票を紛失した場合や忘れた場合は、試験当日に中京大学大学院入試担当係員に申し出て、「仮受験票発行」の手続をとってください。

## 2. 試験当日の注意事項（持ち物含む）

### (1) 持参するもの

- ① 受験票 ● 受験票を紛失した・忘れた場合、又は出発時までに受験票が届かなかった場合は、試験当日に中京大学大学院入試担当係員に申し出てください。
  - ② 筆記用具 ● HB の黒鉛筆又はシャープペンシル、プラスチック消しゴム  
※下敷き、定規、コンパス等の使用は認めません。
  - ③ 時計 ● 試験会場（試験室）には時計がありません。  
● 時計以外の機能が付いたものの使用は認めません（タイマーや大型時計の使用も認めません）。また、携帯電話（スマートフォン含む）を時計として使用することもできません。
- ※辞典・辞書等の持込みについては、本冊子「Ⅰ 入学定員・入試日程・出願資格・試験科目等」の「6. 試験科目・時間等」を参照してください。

### (2) 試験室への案内

- ① 試験開始30分前までに、本冊子に記載する集合場所に集合してください。なお、試験室への案内は、掲示・大学院入試担当係員の誘導などにより行います。  
※集合場所は本冊子「Ⅰ 入学定員・入試日程・出願資格・試験科目等」の「7. 試験当日集合場所・時間」を参照してください。  
※前日に試験室を下見することはできません。
- ② 試験の注意事項をアナウンスするため、試験開始10分前までに所定の試験室、座席に着くようにしてください。
- ③ 各試験会場内は禁煙とします。

### (3) 遅刻について

私的な理由による遅刻については試験開始後30分まで入室を認めます。それ以降の遅刻は一切認めません。なお、時間延長等の特別措置はありません。公共交通機関の遅延によって試験に遅れる場合は、遅延証明書を持参してください。

### (4) 自然災害、火災、停電、その他不可抗力による事故等が発生した場合の対応について

地震、台風等の自然災害や火災、停電、その他不可抗力による事故等が発生した場合、試験開始時刻の繰下げ、試験の延期等の措置をとることがあります（試験開始時刻を繰り下げた場合、最終終了時刻を変更すること、また試験時間を確保するために休憩時間を調整することがあります）。

予め対応を通知できる場合は、中京大学公式ホームページのトップ画面（以下）に掲載しますので、出願前や受験前に必ず確認してください。

中京大学公式ホームページ <https://www.chukyo-u.ac.jp/>

ただし、それによって生じた受験生負担の費用、その他個人的損害について、本学はその責任を一切負いません。また、試験延期の措置をとる場合（一部の受験生のみでの延期を含む）、可否通知発送日もそれに伴い延期することがあります。

#### 〈受験生個人に発生した不測の事態への対応について〉

試験当日に、受験生本人に不測の事態が発生し、試験開始時刻に間に合わない場合は、中京大学教務センター（大学院係）（次ページ）まで連絡してください。不測の事態の内容等（理由を含む）を確認した上でその後の対応について案内します。

(5) 学校保健安全法で出席停止が定められている感染症に罹患した場合等の対応について

インフルエンザをはじめとする学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（対象となる感染症については、学校保健安全法施行規則をご確認ください）に罹患した場合又はその疑いがある場合は、他の受験生や監督者等への感染のおそれがありますので、原則として受験を控えてください。また、学校保健安全法施行細則に記されていない感染症に関しても、WHO や厚生労働省等による指針等に基づく対応を取る場合があることをご確認ください。ただし、症状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められた場合は、この限りではありません。

上記の理由により受験ができない場合は、それが判明次第すみやかに（遅くとも入学試験当日の午前9時までに）中京大学教務センター（大学院係）（以下）まで連絡してください。

中京大学教務センター（大学院係）： TEL (052)835-9863（直通）

### 3. 合格発表（合否通知発送）

- ①合否通知発送日（本冊子「I 入学定員・入試日程・出願資格・試験科目等」の「2. 入試日程」参照）に合否通知を発送します。
- ②合格者の入学手続書類は、合格通知書とともに郵送します。

### 4. 入学手続

入学手続に必要な書類は、合格通知書に同封して郵送します。

入学手続は「第一次入学手続」と「最終入学手続」の二段階納入方式です。詳しくは合格通知書同封の『入学手続要項』を確認してください。

※後期日程は、二段階納入方式ではなく、第一次入学手続と最終入学手続が同一期間となります。詳細は本冊子「I 入学定員・入試日程・出願資格・試験科目等」の「2. 入試日程」を参照してください。

### 5. 入学試験の成績開示

本学を受験された方の入学試験成績を、受験生本人から請求があった場合に限り開示します。開示を希望する方は、以下の要領で申し込んでください。

(1) 開示対象の試験区分と開示内容

科目別得点（評価）、総合得点、合格最低点

(2) 開示請求期間

2025年4月2日（水）～2025年5月12日（月）〈消印有効〉

(3) 開示方法

希望する宛先に入学試験成績開示書を「簡易書留郵便」で親展にて送付します（2025年6月初旬送付予定）。

(4) 申請者

受験生本人に限ります。本人確認のため入学試験受験票を申請時に提出してください。

(5) 申込み方法

次の書類等を封筒に入れ、表面に「大学院入試成績開示請求」と朱書きして、「簡易書留郵便」で教務センター（大学院係）宛に送付してください。

①入学試験成績開示請求書

「入学試験成績の開示を希望する」旨と研究科・専攻・課程、試験区分、入学時期、受験番号、氏名、フリガナ、郵便番号、住所、電話番号をA 4 判サイズの用紙に記入の上、捺印すること。

②開示を希望する入学試験受験票（コピー不可。入学試験成績開示書とともに返送します。）

③開示手数料：定額小為替500円分（郵便局にて購入してください。指定受取人欄は空欄としてください。前期及び後期両日程の成績を開示する場合でも、開示手数料は500円となります。）

④住民票の写し（送付先が受験票記載の住所と異なる場合）

(6) 書類の送付・問合わせ先

〒466-8666 名古屋市昭和区八事本町101-2 中京大学教務センター（大学院係） TEL (052)835-9863

# IV 学費・経済支援等

## 1. 学費等

※以下の内容は事情により改定することがあります。

(単位：円)

	入学金	授業料	教育充実費	年額計	入学時納付金
修士課程	200,000	505,000	200,000	905,000	552,500

### 【補足事項】

- ①修士課程の2年次納付金は、1年次と同額です（入学金を除く）。
- ②「入学金」は入学時のみ納入し「授業料」、「教育充実費」は春学期・秋学期の2回に分けて納入します。ただし、入学時の春学期分については、入学時納付金に含まれます。
- ③入学後、いくつかの特定科目の履修に際して別途履修費及び実習費を徴収することがあります。
- ④入学辞退手続締切日までに入学辞退手続をした場合、入学時納付金のうち、入学金を除くその他の納付金を返還します。
- ⑤長期履修制度（後述）を利用する入学者については、標準修学期間（2年間分）の学費を、3年間で納入します。
- ⑥社会人短期履修制度（後述）を利用した場合の授業料については、別途お問い合わせください。
- ⑦日本語日本文学専攻及び歴史文化専攻は上記表に記載するものの他に「学会費（1,000円）」を春学期に納入します。

### 【長期履修制度について】

中京大学学則において、修士課程の標準修業年限は2年間と定められていますが、次のいずれかの事情により、標準修業年限内での修学が困難である場合、3年間での計画的な教育課程の履修を可能とします。長期履修制度の適用を希望する場合には、「長期履修許可願」（所定様式）を渡しますので、出願期間前に時間の余裕をもって教務センター（大学院係）に申し出てください。

- (1) 職業を有し、生計を立てるために恒常的に勤務している
- (2) 家事、育児、介護等に従事している
- (3) 心身の機能に障がいがある

※外国人留学生（出入国管理及び難民認定法において定める在留資格「留学」を有する者、又は入学時に得る予定である者）、再入学者、編入学者及び転入学者は長期履修制度の対象外です。

※長期履修は、申請すれば必ず認められるものではありません。審査により不可となる場合もありますのでご了承ください。なお、適用の可否については合格通知に同封します。

※この制度は学業不振などの理由により修了が延期となる者を救済するためのものではありません。

※長期履修制度を利用しても、4年を超えて在学することはできません。

### 【社会人短期履修制度について】（法・政治学専攻のみ）

中京大学学則において、修士課程の標準修業年限は2年間と定められていますが、「社会人としての実務経験を3年以上有している者」については標準修業年限を1年以上2年未満とすることを可能としています。社会人短期履修制度の適用を希望する場合には、「短期履修許可願」（所定様式）を渡しますので、出願期間前に時間の余裕をもって教務センター（大学院係）に申し出てください。

※税理士選抜志願者、再入学者、編入学者及び転入学者は社会人短期履修制度の対象外です。

※社会人短期履修は、申請すれば必ず認められるものではありません。審査により不可となる場合もありますのでご了承ください。なお、適用の可否については合格通知に同封します。

## 2. 経済支援等

奨学金制度は、年度ごとに変更が生じる場合があります。中京大学公式ホームページにて最新情報を確認してください。

### ■中京大学奨学金

<b>大学院奨学金</b>
<b>大学院進学奨学金 [減免]</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・中京大学卒業生が中京大学大学院博士前期課程（修士課程）に進学する場合、入学金20万円を2万円に減額。さらに、入学後第1セメスターの教育充実費を半額に減額。</li><li>・中京大学博士前期課程（修士課程）学生が同一の専攻の博士後期課程に進学する場合、入学金を免除。</li><li>・中京大学卒業生が、中京大学大学院博士後期課程に進学する場合、入学金を半額に減額。さらに、入学後第1セメスターの教育充実費を半額に減額。</li></ul>
<b>経済支援奨学金</b>
<b>①教育資金融資援助奨学金 [給付]</b> <p>金融機関の教育ローンを利用して学費の全部又は一部を納入している学生に対して、その教育ローンの年間利子の一部または全額を給付（年1回、教育資金融資金のうち対象となる額は200万円を上限とする）。</p>
<b>②緊急支援奨学金 [給付]</b> <p>学業に精励しているが、保証人（父母あるいは主たる生計維持者）の死亡・高度障害または失職（解雇・倒産）などによる家計事情で修学が困難となった学生に対して、30万円を給付（1回のみ）。</p>
<b>③災害支援奨学金 [給付]</b> <p>学業に精励しているが、保証人（父母あるいは主たる生計維持者）が所有する住居の火災や風水害を受けた学生に対し、20万円を給付（同一事由による給付は1回のみ）。</p>
<b>活動支援奨学金</b>
<b>①学術・文化・スポーツ奨学金 [給付]</b> <p>中京大学の「建学の精神」に則り、学術文化又はスポーツにおいて優秀な成績を収めている学生に対して、入学金の全額または入学金の全額と授業料（教育充実費含む）の全額もしくは半額を給付。〈採用人数〉若干名</p>
<b>②交換・認定留学給付奨学金 [給付]</b> <p>所定の学力基準を満たした交換及び認定留学生に対して、最大120万円を給付。※学力や留学先によって給付金額は異なります。〈採用人数〉設定なし</p>
<b>③交換・認定留学学費減免 [減免]</b> <p>留学期間中の中京大学学費のうち、交換留学に参加する学生に対して授業料の半額を減額（要件なし）し、認定留学に参加する学生に対しては授業料の全額を免除（要件なし）。〈採用人数〉設定なし（交換・認定留学共通）</p>
<b>④セメスター留学学費減免 [減免]</b> <p>グローバル教育センターが主催するセメスター留学に参加する学生に対して、留学期間中の中京大学学費のうち、授業料の全額を免除（要件あり）又は半額を減額（要件なし）。〈採用人数〉設定なし</p>
<b>⑤チャレンジ奨励金 [給付]</b> <p>大学および地域社会の活性化につながることを期待され、学生のチャレンジ精神が発揮される活動を対象とし、3～100万円を給付。〈採用人数〉設定なし</p>



## 外国人留学生奨学金・学費減免

### ①外国人留学生給費奨学金〔給付〕

教育・研究を通じて国際相互理解を図ることを目的とし、学業成績が優れているが経済的事情のため修学が困難な私費外国人留学生（出入国管理及び難民認定法において定める在留資格「留学」を有する正規留学生）に対して、月額65,000円を給付（学業成績による選考あり）。

〈採用人数〉10名（半期）

### ②外国人留学生学費減免〔減免〕

学業に精励している外国人留学生（出入国管理及び難民認定法において定める在留資格「留学」を有する正規留学生）に対して、修学を支援するために博士前期課程（修士課程）学生は入学後2年間、博士後期課程学生は3年間にわたり、授業料の3割にあたる金額を減額。ただし、国費外国人留学生及び外国政府派遣留学生を除く。

## ■学外 奨学金

### ①日本学生支援機構（JASSO）奨学金〔貸与〕

勉学意欲が高く、高度な研究能力を持ち、経済的理由により修学が困難であると認められた学生に対して、無利子または有利子で奨学金を貸与。

詳細は日本学生支援機構ホームページおよび中京大学公式ホームページをご確認ください。

### ②服部国際奨学財団奨学金〔給付〕

公益財団法人服部国際奨学財団より、意欲が高く成績優秀な学生（年度により日本人学生または外国人留学生（出身国）の指定あり）に対して、月額10万円を2年間給付（毎年継続の審査あり）。

〈採用人数〉若干名

## ■その他経済支援等

### ①リサーチ・アシスタント（RA）制度

本学博士後期課程在学学生で、本学の研究科又は研究所が行う指定の研究に参画し、研究代表者（教員等）の指示に従い、当該研究の遂行に必要な研究補助業務に従事する者に給与を支給。

〈任用期間〉1年以内（初回任用日から最長3年まで更新可）〈勤務時間〉1日7時間以内、週20時間以内

〈時給〉2,000円

### ②ティーチング・アシスタント（TA）制度

学部科目担当者（教員）の指示に従い、当該科目の授業補助業務に従事する本学大学院在学学生に給与を支給。履修者に対する助言等を行うことから、教育指導者としてのトレーニングの機会にもなる。

〈上限コマ数〉1週間あたり3コマ〈手当〉1コマ2,600円

# V 教員組織

人文社会科学研究科長 中山 恵子

日本語日本文学 専攻	職位	氏名	専門分野
	教授	大池 茂樹	書道
	教授	勝亦 志織	中古文学
	教授	甘露 純規	出版論
	教授	後藤 英次	古代日本語史
	教授	酒井 敏	近代文学
	教授	徳竹 由明	中世文学
	教授	中川 豊	図書館史
	教授	宮内 佐夜香	近代日本語史
	教授	宮澤 太聡	文章／談話
	教授	柳沢 昌紀	近世文学
	准教授	平塚 雄亮	日本語方言
	准教授	森山 真吾	外国語教育学
	講師	西嶋 頼親 ★	広告／メディア

言語文化専攻	職位	氏名	専門分野
	教授	明木 茂夫	日中比較文化論／古典楽理
	教授	岩田 託子	イギリス文学・文化研究
	教授	クリストファー アームストロング	北アメリカ研究
	教授	郡 伸哉	ロシア文学
	教授	ジェームズ ダンジェロ	世界の様々な英語
	教授	ジョン エスポジート	国際教育
	教授	杉浦 清文	英語圏文学／比較文学
	教授	武井 暁子	イギリス文学
	教授	都築 雅子	語彙意味論／日英対照研究
	教授	土橋 善仁	理論言語学
	教授	中川 直志	英語統語論
	教授	長滝 祥司	心と身体の哲学／認知現象学
	教授	野村 昌司	理論言語学
	教授	森 有礼	アメリカ文学・批評理論
	教授	亘理 陽一	外国語教育学／教育方法学
	准教授	大滝 宏一	比較統語論／言語心理学
	准教授	樹本 健	日本思想史／比較思想
	准教授	齊藤 公輔	集合的記憶論／外国語学習論
	准教授	田中 鉄也	宗教学／南アジア研究
	准教授	千葉 洋平	アメリカ文学・文化
	准教授	中島 太郎	19世紀フランス文学
	准教授	松元 洋介	英語史的統語論
	講師	岡見 友里江 ★	対照言語学
	講師	亀田 真澄	メディア研究／感情論

★…指導教員として選択できません。

※上記は2024年5月現在の教員組織です。

各教員の研究分野については、中京大学公式ホームページの人文社会科学研究科案内ページ（右記二次元コードからアクセス）を参照してください。



歴史文化専攻	職 位	氏 名	専門分野
	教 授	小 川 和 也	日本思想史
	教 授	白 根 孝 胤	日本近世史
	教 授	多 田 哲 ★	西洋中世史
	教 授	中 元 崇 智	日本近現代史
	教 授	馬 部 隆 弘	戦国・織豊期論
	准教授	小 池 勝 也	日本中世史
	准教授	小早川 道 子	日本民俗学
	准教授	溝 口 優 樹	日本古代史
	准教授	米 岡 大 輔 ★	東欧近現代史

法・政治学専攻 (法学領域)	職 位	氏 名	専門分野
	教 授	緒 方 あゆみ	刑法
	教 授	小 山 佳 枝	国際法
	教 授	柴 田 洋二郎	労働法／社会保障法
	教 授	杉 島 由美子	民法
	教 授	土 井 崇 弘	法哲学
	教 授	土 岐 孝 宏	商法／保険法
	教 授	中 川 由 賀	刑事法
	教 授	新 里 慶 一	商法
	教 授	保 条 成 宏	刑事法／医事法／障害法
	教 授	森 まどか	会社法
	教 授	柳 本 祐加子	ジェンダーと法
	教 授	横 尾 日出雄	憲法
	客員教授	荒 川 章 三	租税法
	客員教授	藤 田 美 咲	租税法
	准教授	上 田 貴 彦	民法
	准教授	高 野 慧 太	知的財産法
	准教授	張 栄 紅	行政法
	准教授	中 田 静	刑法／刑事政策学
	准教授	濱 崎 智 江	民法（財産法）
准教授	矢 切 努	法史学	
講 師	保 井 健 呉	国際法／国際人道法	
講 師	山 田 峻 悠	刑事訴訟法	

法・政治学専攻 (政治学領域)	職 位	氏 名	専門分野
	教 授	今 井 良 幸	憲法／地方自治法
	教 授	今 野 泰 三	中東地域研究／平和学 *国際関係・国際開発分野
	教 授	京 俊 介	政治過程論
	教 授	桑 原 英 明	行政学／行政管理論
	教 授	佐 道 明 広	日本政治外交史
	教 授	溜 和 敏	国際関係論 *国際関係・国際開発分野
	教 授	古 川 浩 司	国際関係論／境界地域研究 *国際関係・国際開発分野
	准教授	尾 和 潤 美	国際開発協力論 *国際関係・国際開発分野
	准教授	佐 野 八 重	環境保全 *国際関係・国際開発分野
	准教授	鈴 木 哲 造	日本近現代史
	准教授	平 良 好 利	地方政治論／政治過程論
	准教授	鶴 田 綾 ★	国際政治史／アフリカ研究 *国際関係・国際開発分野
	准教授	パロンセル モルヴァン	政治思想史
	准教授	本 多 倫 彬	平和構築論／国際協力政策研究 *国際関係・国際開発分野
	講 師	寺 岡 知 紀	政治思想史
	講 師	メリサンダ バルコウィッツ	社会開発／障害と開発 *国際関係・国際開発分野

★…指導教員として選択できません。  
 ※上記は2024年5月現在の教員組織です。

各教員の研究分野については、中京大学公式ホームページの人文社会科学研究科案内ページ（右記QR コードからアクセス）を参照してください。



	職 位	氏 名	専門分野
経済・経営学専攻 (経済学領域)	教 授	阿 部 英 樹	日本経済史
	教 授	内 田 俊 博	環境経済学
	教 授	大 森 達 也	公共経済学／財政政策
	教 授	岡 本 祥 浩	居住福祉論
	教 授	釜 田 公 良	公共経済学／財政学
	教 授	小 林 毅	金融論
	教 授	近 藤 健 児	国際経済学
	教 授	佐 藤 茂 春	政治と法の経済学
	教 授	鈴 木 崇 児	交通経済学
	教 授	椿 建 也	西洋経済史
	教 授	都 丸 善 央	産業組織論
	教 授	中 山 恵 子	ミクロ経済学
	教 授	西 村 一 彦	社会システム工学
	教 授	平 澤 誠	財政政策
	教 授	古 川 章 好	地方財政学
	教 授	増 田 淳 矢	統計学
	准教授	齊 藤 由里恵	社会保障論
	准教授	塚 本 高 浩	応用計量経済学
	准教授	西 本 和 見	経済学説史
	准教授	深 堀 遼太郎	労働経済学
	准教授	福 田 勝 文	国際貿易論
	講 師	石 井 北 斗	金融論
	講 師	石 田 貴 士	計量経済学
	講 師	斎 藤 佑 樹	経済成長論
講 師	森 本 貴 陽	経済成長論	

★…指導教員として選択できません。

※上記は2024年5月現在の教員組織です。

各教員の研究分野については、中京大学公式ホームページの人文社会科学研究科案内ページ（右記QR コードからアクセス）を参照してください。



	職 位	氏 名	専門分野
経済・経営学専攻 (経営学領域)	教 授	赤 沢 克 洋	マーケティング・リサーチ
	教 授	梅 田 守 彦	会計学
	教 授	太 田 真 治 ★	国際マーケティング論
	教 授	川 端 勇 樹	組織論／組織間関係論
	教 授	金 炫 成	ベンチャービジネス論
	教 授	坂 田 隆 文	マーケティング論
	教 授	佐 藤 祐 司	経営科学
	教 授	銭 佑 錫	国際経営
	教 授	高 橋 秀 雄	サービスマーケティング論
	教 授	谷 口 勇 仁	企業と社会論
	教 授	永 石 信	グローバル組織革新
	教 授	中 村 雅 章	ビジネス戦略
	教 授	弘 中 史 子	技術経営論
	教 授	峯 岸 信 哉	金融機関研究
	教 授	宮 内 美 穂 ★	マーケティング
	教 授	向 日 恒 喜	情報管理
	教 授	矢 部 謙 介	コーポレート・ファイナンス
	教 授	吉 田 康 英	財務会計
	准教授	加 藤 政 仁	コーポレート・ファイナンス
	准教授	齊 藤 毅	管理会計
	准教授	櫻 井 雅 充	人的資源管理
	准教授	中 村 将 人	会計史
	准教授	濱 田 知 美	技術経営論
	准教授	松 原 日出人	経営史
	講 師	井 関 紗 代	消費者心理学
	講 師	浜 田 敦 也	中小企業論
講 師	楊 一	経営組織論	

★…指導教員として選択できません。

※上記は2024年5月現在の教員組織です。

各教員の研究分野については、中京大学公式ホームページの人文社会科学研究科案内ページ（右記QR コードからアクセス）を参照してください。





## VI 卷末書類

卷末書類のヘッダー	書類名	備考
卷末一人社・志願書	志願書	
卷末一身元保証書	身元保証書	外国人留学生のみ提出
卷末一学歴認証表紙	学歴認証表紙	中国の教育機関を卒業／修了した者（含見込）のみ提出





志願書

受験番号（大学記入欄）

出願する 専攻(領域) *( ) 内に○を付す	( ) 日本語日本文学専攻	出願する日程 *( ) 内に○を付す	( ) 前期 ( ) 後期
	( ) 言語文化専攻	出願する 試験区分 *( ) 内に○を付す	( ) 一般選抜
	( ) 歴史文化専攻		( ) 社会人選抜
	( ) 法・政治学専攻(法学領域)		( ) 留学生選抜
	( ) 法・政治学専攻(政治学領域)		( ) 税理士選抜
	( ) 経済・経営学専攻(経済学領域)		( ) 卒業生特別選抜
	( ) 経済・経営学専攻(経営学領域)		( ) 学内特別選抜

カナ氏名	(セイ)	(メイ)	写真貼付欄 注) 3カ月以内に 撮影したもの 注) 縦4cm×3cm	
漢字氏名	(姓)	(名)		
生年月日/ 年齢/性別	(西暦) 年 月 日生	歳		男・女 *○で囲む
電話番号	自宅	—		—
	携帯	—		—
メールアドレス				
現住所	〒			
合否通知 発送先住所	〒 ※現住所と同じ場合は「同上」と記入			

研究指導希望教員名			
長期履修制度希望 *希望者のみ( )内に○を付す 本冊子P.21を参照すること	( ) 希望する	短期履修制度希望 *希望者のみ( )内に○を付す 本冊子P.21を参照すること	( ) 希望する
外国人留学生 のみ記入	国籍	出願時の在留資格	
		入学後の在留資格 (予定)	
	日本国政府又は外国政府等からの学費相当以上の奨学金の支給を受ける場合は○を付す		

選択言語・ 分野等	言語文化専攻【一般・社会人・留学生選拔出願者】 外国語（選択言語） *( )内に○を付す、本冊子P.9を参照すること	( ) 英語 ( ) ドイツ語 ( ) フランス語 ( ) 中国語 ( ) ロシア語 ( ) 免除希望※ ※ 免除希望の場合は、外国語外部試験の成績証明書、スコアレポート等のコピーを提出すること。
	日本語日本文学専攻/歴史文化専攻/法・政治学専攻(法学領域)/経済・経営学専攻【一般・社会人・留学生選拔出願者】 専門科目（選択分野） 本冊子P.8~13を参照すること	志望専門分野 志望専門分野以外 *該当者のみ記入
	法・政治学専攻(法学領域)/経済・経営学専攻(経営学領域)【税理士選拔出願者】 専門科目の免除 *( )内に○を付す、本冊子P.12~13を参照すること	( ) 希望する
	※免除希望の場合は、税理士試験科目の合格を証明することができる書類のコピーを提出すること。	

氏名 \_\_\_\_\_

学歴

区分	学校名	修業年限	在学期間（西暦）	選択 *○で囲む	学位
小学校		年制	年 月～ 年 月		
中学校		年制	年 月～ 年 月		
高等学校		年制	年 月～ 年 月		
大学	*大学名/学部名/学科名を記入	年制	年 月～ 年 月	・卒業 ・卒業見込 ・その他 ( )	
大学院	*大学名/学部名/学科名を記入	年制	年 月～ 年 月	・修了 ・修了見込 ・その他 ( )	
			年 月～ 年 月		
			年 月～ 年 月		
			年 月～ 年 月		

※外国籍の者は、通学したすべての教育機関（小学校、中学校を含む）について記入すること。語学学校に通学していた場合は、空欄に記入すること。

※日本国籍の者は、高等学校以降の教育機関（高等学校を含む）について記入すること。

※外国の学校教育を受けた場合は、学校名欄に学校所在地（国・都市）を記入すること。

※日本国内に在住している外国人留学生は、来日後の学歴をすべて記入すること。

### 職歴、ボランティア歴、社会活動歴

期間（西暦）	事項
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	

※社会人選抜に出願する者は、出願資格を満たすことがわかるように明確に記入すること。

※外国で職業に就いていた場合は、事項欄に学校所在地（国・都市）を記入すること。

### 研究歴

期間（西暦）	事項
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	

※外国で研究に従事していた場合は、事項欄に学校所在地（国・都市）を記入すること。

### 日本語の学力【外国人留学生のみ記入】

*出願資格の根拠となる日本語の学力を証明する書類について（ ）欄に○を付す 詳細は本冊子 P.16 を参照すること	( )日本語能力試験(JLPT) ( )日本留学試験(EJU)
	( )日本の大学を卒業(卒業見込みを含む) ( )その他 ( )
※上記の日本語の学力を証明する書類を提出すること。	
※日本の大学を卒業(卒業見込みを含む)の場合は、卒業証明書(卒業見込証明書)でよい。	

### 英語の学力【法・政治学専攻（政治学領域）一般選抜出願者のみ記入】

*出願資格の根拠となる英語の学力を証明する書類について右に記入すること 詳細は本冊子 P.6 を参照すること	
※上記の英語の学力を証明する書類を提出すること。	

## 身元保証書

この身元保証書は、外国人留学生のみ提出すること。

出願研究科・専攻	人文社会科学研究科	専攻	課程	修士課程
氏名	フリガナ			
	漢字			
	ローマ字			
生年月日 (西暦)	年 月 日生	年齢・性別	歳 男・女	国籍
現住所	〒			
	TEL( ) —			

中京大学長 殿

私は上記の者が中京大学大学院留学生として日本に在留中、責任をもって下記事項を保証いたします。

1. 本人が学業に専念するよう監督すること
2. 本人が学費、生活費、帰国旅費及び医療費を支払えないときの負担
3. 本人が日本国法令上関係するあらゆる場合の身元引き受け

フリガナ

保証人氏名

〒

現住所

電話番号

( ) — 携帯電話番号 ( ) —

職業 (詳細に)

年収 (税込み)

本人との関係

日 付 (西暦) 年 月 日 署名

Ⓔ

保証人は日本に居住し、独立して生計を営んでいる者で、在学期間中の本人に関する全ての事項について保証できる者とする (日本国籍を有していなくても可)。



受験番号（大学記入欄）

## 学歴認証表紙

以下の名称の証明書を提出する際にこの表紙をつけること。

### 卒業（見込）証明書又は修了（見込）証明書

以下の書類①、②の両方を提出すること。	提出したものに チェックすること
<大学又は大学院を卒業／修了した者>	
①「中国高等教育学位在线验证报告」の写し	<input type="checkbox"/>
②「Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate」の写し	<input type="checkbox"/>
<大学又は大学院に在学中の者>	
①「教育部学籍在线验证报告」の写し	<input type="checkbox"/>
②「Online Verification Report of Student Record」の写し	<input type="checkbox"/>

### 成績（見込）証明書

以下①～③のいずれかの証明書を提出すること。	提出したものに チェックすること
① 最終出身大学が発行した成績証明書の原本	<input type="checkbox"/>
② 中国高等教育学生信息网（CHSI）が発行した「Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcript」の写し	<input type="checkbox"/>
③ CHSI 日本代理機構が発行した「成績認証報告書」の原本	<input type="checkbox"/>

中国高等教育学生信息网（CHSI）が発行する Web 認証の第三者閲覧用コード（Online Verification Code）を記入すること。	
---	--

出願研究科・ 専攻・課程	人文社会科学研究科	専攻	修士課程
フリガナ			
氏名			



## 入試に関する問い合わせ

中京大学 教務センター（大学院係）

TEL (052) 835-9863

窓口 名古屋キャンパス5号館1階

<受付時間> 平日 9:00~17:00

E-mail [gs-office@ml.chukyo-u.ac.jp](mailto:gs-office@ml.chukyo-u.ac.jp)

## 名古屋キャンパス（設置キャンパス）

〒466-8666 愛知県名古屋市昭和区八事本町101-2

★この要項は2024年5月現在に確認できる内容に基づいて作成しています。このため、入学時には専任教員等を変更する可能性があります。